

Tairayougo Assistive technology Project 略して TAP の活動報告、第5弾をお届けします。今回は、昨年度の活動報告と学校にある教材・教具についてお伝えします。

## 「活動報告」

### 〈事例〉

#### ○ アンケート内容

児童の実態	基本的な漢字・計算等、繰り返し学習することが必要。
こうなってほしい	飽きないで基礎・基本の学習をしてほしい。
困り感	iPad の使用で興味・関心が上がったので参考になるアプリを教えて欲しい。

#### ○ AT プロジェクトメンバーが提案したアプリ

- ①「未来プロジェクト」(iPad アプリ) → 漢字の書き順練習
- ②「カリキュレーター」(iPad アプリ) → 計算練習、自分で敷きを書き答えを導き出してくれる。
- ③「暗算マン」(iPad アプリ) → 計算練習用アプリ

今回は漢字や計算のアプリを提案しましたが、児童の実態に応じたアプリの提案を行っていきたいと思いますので、AT プロジェクト委員会メンバーにお声かけください。

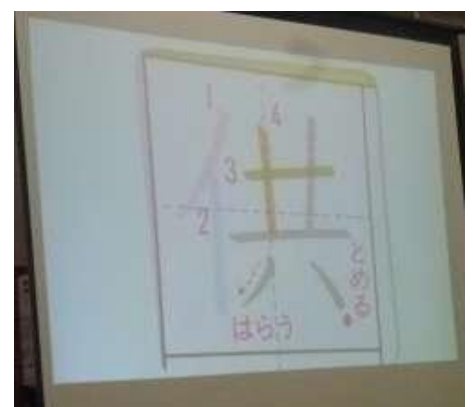
## 「教材・教具」

### ① 実物投影機

皆さん、1度は見たことがあると思います。

実は本校にもあることをご存じでしょうか？

実物投影機は、大型テレビやプロジェクターとの組み合わせにより、教科書やノート、ワークシート等をカメラの下に置くだけで、そのまま大きく投影することができる簡単・便利な ICT 機器です。実物投影機を授業で使用することで次のような効果が得られます。



- (1) 興味関心が高まり、児童生徒は自然と顔を上げ、集中が集まる。
- (2) 指し示しながら説明できることから、作業の指示や操作説明を分かりやすく短時間で伝えられる。
- (3) 大事な部分に書き込みながら説明できることから、話題を焦点化しやすくなる。
- (4) 普段は見えにくい(気づきにくい)ものを大きく見せることで児童生徒の知的好奇心を刺激する。

※ 実物投影機は、視聴覚室にあります。

※ 活用の仕方にお困りの時には AT プロジェクト委員会メンバーまで！